

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	教育部学校教育課		■担当係	学事係
■評価事業名称	小中学校体育連盟負担金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	400200 - 028	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	01 知・徳・体を育む		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	小・中学生の体育振興と健康推進を目的とした小・中学校体育連盟に対する負担金児童1人あたり450円 生徒1人あたり500円			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	和賀地区中学校体育連盟負担金	中学生	対象生徒数2,642人	対象生徒数2,642人
02	小学校体育連盟負担金	小学生	対象児童数5,072人	対象児童数5,071人

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	3,324	3,532	3,657	3,609	
人件費	74	241	76	77	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,398	3,773	3,733	3,686	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	事業(大会)実施回数	25	26	35	30	和賀地区小学校陸上競技、水泳の各種大会開催 和賀地区中学校総合体育大会・同新人大会の開催

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

陸上競技会、中総体新人戦等の各種大会開催により、スポーツ競技レベルの向上と児童生徒の体力向上が図られた。

問題点・課題等

運営事業費の拡大(バス運行費の値上げ等)

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

陸上競技会、中総体新人戦等の各種大会開催により、スポーツ競技レベルの向上と児童生徒の体力向上を図る事業であり、継続した実施が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了